



2003年01月20日

**VW ターレック、“パリ・ダカール ラリー”初出場でベスト10に入賞
総合で6位、8位。クラス別では1位、2位を独占**

1月19日(日)、エジプト・シャルムエルシェイク発。

フォルクスワーゲンは、初挑戦となる今年のパリ・ダカール ラリー（正式名称：テレフォニカ・ダカール2003）において、総合成績でベスト10に入る、6位と8位を獲得。さらに、このオフロード バギー プロトタイプの「ターレック（ローマ字表記：Tarek）」は、2WD車の中で1位、2位を独占すると共に、4WDも含めた全てのディーゼル車の中でも、最も速い2台となりました。

「ターレック」は、FIAのT2レギュレーションに基づく“バギー タイプ”に分類され、160kW（218bhp）を発生する1.9リッター 4気筒TDI（ターボ ディーゼル）エンジンを搭載。ボディは、軽量のパイプ構造とカーボン ファイバーで構成されています。今年、世界で一番過酷なレースと言われるパリ・ダカール ラリーにおいて、この堅牢かつ信頼性の高いコンセプトで設計された「ターレック」が期待以上の成績を残したことは、フォルクスワーゲンの高度なエンジンテクノロジーと、優れたボディワークが実証された事を意味します。

フォルクスワーゲン チームを率いたフォルクスワーゲン レーシングの統括責任者、R. シュトロツィクは、今回のラリーについて下記のようにコメントしています。

「今回の結果は、我々の目標と期待を大きく上回りました。砂漠でのデビューは、世界中で最もハードなマラソンラリー（パリ・ダカール）となりましたが、全体的に大変よい結果を得ることができたと思います。2WDクラスにおける勝利と、ディーゼル車としての成績は、我々の目標以上のものでした。今回は、ラリーの経験を積むことができたと同時に、非常に喜ばしい結果を残すことができ、大変うれしく思っています。チームの全員のおかげでした」

【今回の参考データ】

総合6位	ステファン アンサール / ホビ－ ウィリス組（共にベルギー）	（2WD 1位） + 3:42.15 hrs.
総合8位	ユッタ クラインシュミット（独） / ファブリツィア ホンズ（伊）	（2WD 2位） + 8:16.56 hrs.
コース全行程	8,602km	
総参加台数	130台（全クラスにおける4輪、2輪、トラックなど）	
ディーゼル車の台数	67台（ターレック3台を含む）	
参加車平均車速	107km/h	
完走率	47%	